

平成30年度初任行政研修カリキュラム

分類	科目	実施方法	ねらい
国民全体の奉仕者としての使命と職責について考える	公務員の在り方	講義、討議、レポート作成	各府省の事務次官等から、自らの経験に基づいた行政官としての心構えに関する話を聞き、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。
	公務員倫理を考える	演習	事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機づけを図る。
	読書研究 (A～Dコース)	講義、討議	行政官が学ぶにふさわしい課題を取り扱った古典を読み、与えられた課題や論点等について自ら考え、討議、意見交換を行うことにより、行政官として必要な深い思索力を涵養する。
	人権	講義	人権問題に関わる話を聞き、我が国が抱える人権問題の現状を認識するとともに、基本的人権に対する意識を高める。
公共政策の在り方を多角的に検証し考える	政策課題研究	講義、討議	府省横断的な政策課題について調査研究を行い、縦割りを越えた班別討議及び長期的展望に立った具体的な政策提言を通じて、国民全体の奉仕者としての自覚、問題発見能力、問題解決能力、表現力等行政官として求められる資質を涵養する。
	若手公務員の歩み (A～Dコース)	講義、討議	各府省の企画官等による、各府省が取り組んだ行政課題を題材とする講義、質疑を通じて、実際の政策形成に当たって必要となる視点と手続、関係者との調整の在り方、マスコミとの関係等について学ぶ。
	行政政策事例研究	講義、討議	歴史的意義の大きい過去の行政事例を題材として、当時の困難な状況の下で取るべき方策を模索した関係者から話を聞き、批判的な視点も含めて多角的な立場から見た「行政官として取るべき行動」について、率直かつ自由に討議することで、行政官としての使命感や識見、問題解決能力を涵養する。
	政策ディベート	講義、討議、実習	研修員の間での公共政策の在り方に関する討議を通じて、幅広い観点から物事を考えることを学ぶ。また、対立した二つの立場や客観的な審判という立場でそれぞれ考えることにより、相手に受け入れられる効果的な説明をするための論理的思考力を養い、相手の意見を的確に把握することを身につける。
	特別講義	講義	行政課題に関する講義、意見交換を通じ、国民全体の視点から施策を行うための素養、見識を養う。

分類	科目	実施方法	ねらい
公正な公務運営について学ぶ	公務員の在り方 (再掲)	講義、討議、レポート作成	各府省の事務次官等から、自らの経験に基づいた行政官としての心構えに関する話を聞き、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。
	公務員倫理を考える (再掲)	演習	事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機づけを図る。
	若手公務員の歩み (再掲)	講義、討議	各府省の企画官等による、各府省が取り組んだ行政課題を題材とする講義、質疑を通じて、実際の政策形成に当たって必要となる視点と手続、関係者との調整の在り方、マスコミとの関係等について学ぶ。
体験を通して行政の在り方について考える	介護等実地体験	講義、実地体験、レポート作成	社会福祉施設における介護補助業務等の実地体験を通じて、社会や地域の在り方について考え、国民の立場に立ってものを見ることの重要性を学ぶ。
	地方自治体実地体験・被災地復興支援プログラム	講義、実地体験、レポート作成等	地方自治体行政等の現場を訪問し、実地体験や自治体職員、地域住民との意見交換等を通じて、地域の多様性、生活実態、住民の意識やニーズ等についての認識を深める。なお、一部研修員は、被災地復興支援プログラムとして被災地における活動を行う。
	国際行政の現場 (A～Dコース)	講義、意見交換	国際的な業務の最前線で活躍した経験に基づく生きた話を聞き、国際情勢や我が国の置かれている立場、諸外国との交渉や国際協力の在り方などについて認識を深める。
	東南アジア諸国政府職員との意見交換 (Eコース)	講義、意見交換	東南アジア諸国政府職員との英語での意見交換等を通じ、相互理解を深めるとともに、我が国と東南アジア諸国との関係の在り方を考える。
	外国から見た日本への期待	講義、意見交換	我が国に勤務する外国大使館職員等の話を聞き、国際社会における我が国の立場、今後期待される我が国の役割等について認識を深める。英語で実施する。
	現場訪問	講義、視察、意見交換	中小企業、NPO等を訪問し、関係者との意見交換等を通じて、政策立案を行う上で現場を知ることの重要性を学ぶ。また、行政が直面する諸課題について認識を深めるとともに、行政の役割・在り方について考える。
諸行事	開・閉講式、オリエンテーション、健康管理等		

注) 研修科目、時間等は、諸事情により変更することがある。